

真庭市では、未来を担う子どもたちを育てるために、どんな取り組みをしているのでしょうか。真庭市キャリアクターまにぞうがリポーターになって、子育て中のお母さんや親子が気軽に集まれる場「つどいの広場」でお世話をしている人、「子育て世代包括支援センター」で支援をしている人などにお話を聞いていきます。

しやすい
めざして



真庭って、子育てをしやすい
ところなのかな？
真庭の取り組みなどについて、
みんなに聞いていくね。



真庭市キャラクター まにぞう

特集

子育て まちを



ママの本音 どうなの？真庭で子育て

広島から真庭へお嫁に来て、現在1歳の大道くんの育児に奮闘中の松下すみれさんに、真庭での子育てについてお話を聞いてみたよ。



真庭にお嫁にきて印象はどうだった？

私は、平成25年に広島から真庭に嫁いできました。広島といっても真庭と同じような自然に囲まれたところなので、こっちへ来たときは、とにかく面積が広くて実家と同じような場所だなと思っていました。子どもが生まれる前は、あまり自然に目が向くことはありませんでしたが、子どもが生まれて成長するにつれて、だんだん季節の草木など身近なものに目が向くようになりました。庭先で育てているミニトマトを子ど



真庭で子育てをしている中で困っていることはある？

もが採ってそのまま食べているところを見ると、都会ではできないこともでき、空気がきれいで自然豊かな真庭で子育てができることに安心感を持つようになりました。子どもに感謝ですね。

困っていることは、子どもが生まれてからは特になんませんが、私は妊娠中に不安になることがよくあったので月に1回でも妊婦さんたちが気軽に集まれるような会があればいい

いのにと思います。妊婦が参加できる会もあったんですが、妊婦だけが対象ではなく、対象が小さい子どもがいるママさんと一緒に、参加者の9割以上がママさんということもあって妊婦さんたちは遠慮して参加しにくい状況でした。私も参加できなかった一人なんですけどね。今の時代、パソコンやスマートフォンなどで簡単に情報を手に入れることができますが、情報が溢れすぎていて、どれを信じていいのか分らず、戸惑うことが多くありました。直接顔を合わせて気軽に情報交換ができるような機会があるとより安心できま



まつした ひろみち
松下すみれさん、大道くん(田原)



す。いろいろ難しいこともあると思いますが、私と同じような思いのママさんも多いと思うので、これから少しずつそういう場所ができていくことに期待したいです。

真庭で子育てしてて どんなことがよかった？

子どもが生まれる前は、休みの日には主人と二人で県外に出かけることが多くて、近所で何かをするということもあまりなく、まわりに知り合いがほとんどいませんでした。でも、子どもができ、一カ月訪問のときに保健師さんから「つどいの広場」のことを教えていただいて、「サポートあい」や「くせ活き生きサロン」を利用するようになりました。私と同じように市外から嫁いできているママさんたちとも友達になって、本当に良かったと思っています。ママさんたちとお喋りをするのでストレス発散できますし、子育てのいいアドバイスももらえます。もしこういった場所がなかったら、毎日どう過ごしているだろうと、ママさんたちとよく話しています。

私は、主に午前中に「サポートあい」や「くせ活き生きサロン」を利用させていただいて、そこで子どもをしつかり遊ばせています。そうすることで子どもは午後からしつかり

お昼寝をしてくれるので、そのお昼寝の時間が私にだけゆっくりできる時間なんです。これが私の一日のリズムにもなっています。

よく利用しているつどい の広場について教えて

私は、くせ活き生きサロンをよく利用しています。イベントなどでは、愛育委員さんや栄養委員さんがとてもよくしてくださいます。兄妹がいる場合は、下の子を見てもらえるので、普段下の子ばかりに手を取られて甘えさせてあげられない上の子にもしつかり甘えさせてあげることができますよ。そういうサポートがあると2人目も考えちゃいます。



つどいの広場で みんなで交流しませんか

真庭市内には、つどいの広場事業で活動している広場が5つあるんだ。今回は松下さんから紹介してもらった久世地区にある「くせ活き生きサロン」について、職員の高柳さんと坂根さんにお話を聞いたよ。



くせ活き生きサロンって、
どんなところなの？

坂根…くせ活き生きサロンは、久世体育館や久世プールなどがある「北町公園」の敷地内にある施設で、火曜日から土曜日まで週5日開館しています。現在、皆さんに楽しんでいただけるような企画を考えながら、子どもたちが自由に遊べる場所の提供、そして保護者の方には、子育て

皆さんの居場所であり続けたい



サロンを運営している中
で困ったことはある？

高柳…特に困っていることは、今のところ思いつきませんが、いつも思っているのは、主任児童委員さんや愛育委員さん、栄養委員さん、そして地域の皆さんの支えがなかったら、このサロンは運営することができないということです。いろいろ楽しいイベントを企画しても、私たち二人だけでは開催することはできません。これからも、皆さんに協力いただきながら、一人でも来てほしい、友達と来ても楽しい、そして、地域の皆さんの居場所であり続けるように頑張っていきます。

の情報交換や相談の場として利用していたれています。サロンには多くの親子連れに来ていただいているのですが、特に私たちが心がけているのは、保護者の方にこちらからどんな声を掛けさせていただくこと。市外からお嫁に来られた方などには、友達も紹介しています。その他にも、高齢者の方への健康づくり体操教室も開催していて、子どもからお年寄りまで利用していただいています。



～一人で子育てを頑張っているママさんたちへ～

一人で頑張らずに、つどいの広場で友達をみつけませんか。同じ悩みを持っている人と話すだけでも心が安らぐかもしれませんよ。

高柳 坂根

くせ活き生きサロンで、皆さんの相談相手や子どもたちの遊び相手にもなってくれる職員の坂根美和さん（久世）と高柳順子さん（久世）

湯原つどいの広場



☆場 所 湯原つどいの広場(真庭市下湯原273-1)
 ☆開設日 週3日(月・水・金)
 ☆時 間 9:00~17:00
 ☆問い合わせ先 湯原つどいの広場 TEL0867-62-2170

中和つどいの広場



☆場 所 中和保健福祉センター(真庭市蒜山下和1801)
 ☆開設日 週3日(月・水・金)
 ☆時 間 9:00~17:00
 ☆問い合わせ先 中和保健福祉センター TEL0867-67-7770

NPO法人 子育て支援の会 サポートあい



☆場 所 落合こども園内(真庭市落合垂水938-1)
 ☆開設日 週5日(月~金)
 ☆時 間 10:00~16:00
 ☆問い合わせ先 サポートあい TEL0867-52-8220

くせ活き生きサロン



☆場 所 くせ活き生きサロン(真庭市久世266-2)
 ☆開設日 週5日(火~土)
 ☆時 間 9:00~17:00
 ☆問い合わせ先 くせ活き生きサロン TEL0867-42-2320

子育て広場ほくぼう ほたるっこ



真庭市内の つどいの広場

☆場 所 北房振興局2階(真庭市下皆部248)
 ☆開設日 毎週木曜日
 ☆時 間 10:00~12:00
 ☆問い合わせ先 北房振興局 TEL0866-52-2113

一人で悩まず まずは相談してください

真庭市が子育てに関するワンストップ窓口として設置している「子育て世代包括支援センター」に勤務している母子保健コーディネーターの本田さんにお話を聞いたよ。



その相談が次の支援につながります



子育て世代包括支援センターってどんなところ？

真庭市は、市民の皆さんの子育てに関する悩みや相談のワンストップ窓口として、4月に「真庭市子育て世代包括支援センター」を市役所本庁舎内に設置しました。7月1日からは、私が母子保健コーディネーターとして、支援させていただくようになりました。



センターではどんな支援をしてくれるの？

このセンターは、不妊・不育症で悩んでいる人から子育てをしている人まで広く利用することができます。不妊・不育の治療に関しては、平成28年度から、助成額の増額や対象要件の緩和などを行っていますので、詳しくはお問い合わせください。妊娠期から産後までは、妊娠届を



どんなときに
相談すればいいの？

母子健康手帳をお渡す際、お話を伺っている中で、赤ちゃんを授かる喜びだけでなく、戸惑いや不安を

提出され、母子健康手帳をお渡しするときに個別面接（全妊婦が対象）をして、お母さんの健康のことについてお話を聞かせてもらいます。それから、出産に向けて必要に応じて医療機関との連絡調整をしたり、出産後の自宅訪問では保健師と連携して赤ちゃんの状態確認や産後ケアについてのアドバイスも行います。その後、育児などに不安がある場合には、必要なサービスを紹介するなどして、継続的にサポートしていきます。なお、母子健康手帳の交付や各種相談、子育てに関する情報提供などのサービスは、各振興局でも今までも変わらず行っていますので、気軽にご利用ください。



子育て世代包括支援センター

保健師・栄養士・臨床心理士・保育士などと連携し
切れ目なくサポートします

真庭市に引っ越してきたけど、周りは知らない人ばかり。どこに行けばママ友や知り合いができるのかなあ。

悩みや不安

そろそろ仕事復帰を考えなくっちゃ。子どもを保育園に預けることはできるのかなあ。

赤ちゃんがおっぱいを飲んでくれない。どうすればいいだろう。

初めての妊娠・出産。とても不安だなあ。こんな悩みを持っているのは私だけ？

妊娠前

妊娠期

出産

産後

育児

不妊・不育相談

妊娠届・妊婦健康診査・妊産婦ケアなど

つどいの広場
保育園 など



お母さんの笑顔は
子どもの笑顔に
つながります

抱えているお母さんも多いように感じます。そのようなお母さんの中には、周りに相談する人もなく、一人で子育てに悩み、ストレスを溜め込んでしまう人もいます。例えば、こんな悩みはないでしょうか。「子どもが泣き止まない」「赤ちゃんを育てる自信がない」「市外からお嫁に来ており、知り合いがいない。他のお母さんと友達になりたい」など、少しでも悩んだときや困ったときには、早目にご相談ください。直接当センターに来ていただいてもいいですし、電話やメールでも構いません。保健師や栄養士、臨床心理士、保育士などと連携して、私たちがサポートしていきますので、安心してください。



本田一江 母子保健コーディネーター(保健師)

あなたは一人じゃありません
気軽にご相談ください

問い合わせ先

真庭市子育て世代包括支援センター

TEL7-42-1816(専用ダイヤル)

FAX7-42-1388

E-mail kosodate-hokatsu@city.maniwa.lg.jp

スマホからもOK



ここで使用しているイラストは、谷本早希さん(落合垂水)が描いたものです。

まにわが目指す 子育ての未来

真庭市は教育行政の指針となる「真庭市総合教育大綱」を策定したんだ。
ここでは、大綱の概要や「子育て」に関する施策を紹介していくね。


真庭市総合教育大綱の
概要を説明するよ

真庭市は教育行政の指針となる「真庭市総合教育大綱」を策定したんだよ。「学術」「教育・子育て」「文化・スポーツ」の3分野で、市民の豊かな人生の実現や多様な地域社会の創出に向けた理念、施策の方向性を盛り込んでいるんだ。教育大綱は「個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう『まち』の実現が目標。そのための視点として、みんなで育て合う「協育」、ふるさとへの思いを育てる「郷育」、互いを認め良いところを育て合う「響育」の三つの「ぎょう育」を掲げているんだ。


子育てについての施策を
紹介するよ

真庭市では、「のびのびと心豊かに意欲をもって生活する子どもの育成」を目標としていて、保護者・園・地域が互いに連携して、幼児期に育てたい3つの力「学ぶ力」「生活する

のびのびと心豊かに意欲をもって
生活する子どもを育てていきます

力」「かかわる力」を、体験を通して身につけることが大切だと考えているんだ。

また、地域ぐるみで子どもを育てるために、愛育委員やボランティアの人たちと一緒に育児相談や子育てサークル支援、地域に開かれた園づくりを進めているよ。小中学校では、「ふるさと真庭」を学ぶ郷土学習や自然体験活動、バイオマスなどの環境学習などを通して、真庭の豊かな自然と文化の中での体験や学習する環境づくりを進めているんだ。

こうした取り組みを続けることで、真庭市の未来を担う子どもたちが健やかに育ち、人として誇らしさを持てるようになるんだ。そして、人とのつながりや自然との親しみ、生き生きと生活する力を引き出す保育の充実も目指しているんだ。

「こどもがまんなか」の
環境づくりを進めます



みんなで育ちあう「共育」

真庭市では、互いに寄りそい、子どもも大人も共に育ち、子どもの多彩で豊かな人生を応援していきます。

子ども自身が、家庭や地域の中で「大切な存在」であることを実感することができる子育て・教育環境づくりを進めています。

子育ては、保護者や園、地域がお互いに協力し合いながら行うものです。子どもたち一人ひとりに丁寧に向いあい、いろいろな人に関わることができる真庭市のコミュニティの力を生かし、「ひと」の横のつながりを培う中で、「ひと」がもつ可能性をより大きく育てていきます。

子育て支援とは、決して「保護者の育児の肩代わり」をすることではなく、「保護者の育児のお手伝い」をすることであるという認識をみんなで持つことが必要です。その上で、保護者・園・地域全体が「子どもの最善の利益」とは何かを常に考えながら、それぞれが必要とする役割を担うことが当たり前となるような市民意識の醸成、環境づくりを進めます。

